

# お客様・販売店様・特約店様用

## 壁寄せスタンド

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

#### お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。



#### 警告

安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

#### 販売店様・特約店様へ

プラズマテレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

この壁寄せスタンドは、ソニー製の指定機器専用です。下記指定機器以外には使わないでください。棚板には、メディアレシーバー、DVDプレーヤーやビデオデッキなどを収納するように設計されています。

指定機器：フラットパネルデジタルテレビ  
(KDE-P42HX1/KDE-P50HX1)

#### 壁側に寄せて設置する

壁寄せスタンドは、壁側に寄せて使用することを目的として設計されています。

転倒による事故を防ぐため、壁寄せスタンドは、必ず壁側に寄せて設置してください。



指示

## SU-PG1

# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

## 警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



火災



感電



注意



禁止



指示



**警告**



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・転倒**により**死亡や大けが**の原因となります。

壁寄せスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない

テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。



禁止



加熱した鍋、湯沸しなど熱いものを置かない

ガラス棚板が割れたりして、けがの原因となることがあります。また、壁寄せスタンドを傷める原因となります。



禁止



ガラス棚板の上に乗ったり、ガラス棚板の間に入って遊ばない

お子様がガラス棚板の上に乗ったり、ガラス棚板の間に入って遊んだりすると、ガラス棚板が割れたり、テレビが倒れて、大けがや死亡の原因となります。



禁止



傾いた床面に設置しない

傾いた床面に設置すると、壁寄せスタンドが転倒したり、設置している機器が落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

踏み台にしない

倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止



載せる機器は、指定の質量を超えないようにする

指定の質量を超えると、ガラス棚板が割れたりして、破片が飛び散り、けがの原因となることがあります。ガラス棚板の積載量について詳しくは、11ページをご覧ください。



禁止



下記の注意事項を守らないと**火災・感電・転倒**により**死亡や大けが**の原因となります。

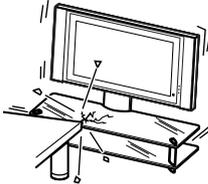
### ガラス棚板に強い衝撃を与えない

壁寄せスタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、破片が飛び散りけがの原因となりますので下記のことをお守りください。

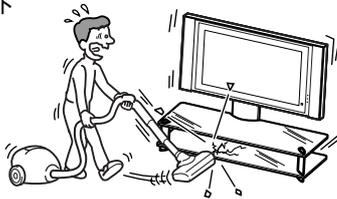
- 物をぶつける、先端の尖った物を落とすなど、強い衝撃を与えない。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス棚板を突いたりしない。
- 収納機器を設置するときに、ガラス棚板の端面にぶつけない。
- 掃除機で床面をすべらせて、下ガラス棚板の端面に当てない。



禁止



禁止

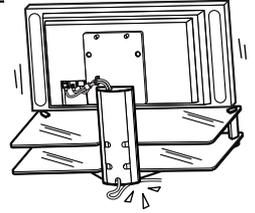


### テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

- テレビなどを壁寄せスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまないようにする。
  - 壁寄せスタンドを動かすとき、電源コードを踏まないようにする。
- コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の家財に**損害**を与えたりすることがあります。

### 指定のテレビ機器以外のものを載せない

- この壁寄せスタンドは指定のテレビ専用です。指定外のテレビや重い物を載せると、すべて落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 指定の機器以外のもの(陶器や花瓶など)は置かないでください。



禁止

### 収納機器を設置したまま動かさない

機器を設置したまま、壁寄せスタンドを動かさないでください。棚板が割れたり機器が落下したりして、思わぬ事故の原因となります。



禁止

### ガラス棚板に力をかけない

収納機器を設置するときに、ガラス棚板に手をつけて体重をかけたり、ドライバーなど硬いものを落としたりしないでください。ガラス棚板が割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

### 押したり引いたりしない

壁寄せスタンドを動かすときは、押したり引いたりしないでください。ディスプレイが落下して破損したり、金具が壊れたりする原因となります。



禁止

# スタンドを組み立て、 ディスプレイを取り付ける

販売店様・  
特約店様用

## 販売店様・特約店様用

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みの上、設置および保守・点検などを安全に行ってください。



火災



感電

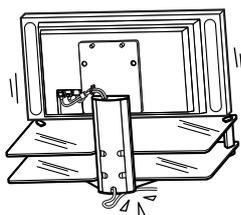
下記の注意事項を守らないと**火災・感電・転倒**により**死亡や大けが**の原因となります。

テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

- テレビなどを壁寄せスタンドに載せるとき、電源コードをはさまみこまないようにする。
- 壁寄せスタンドを動かすとき、電源コードを踏まないようにする。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



禁止



設置は2人以上で行う

ディスプレイを壁寄せスタンドに設置するときは、2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。



注意

転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、地震などにより、ディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。メインブラケット上部の転倒防止金具にワイヤーなどを通して壁に取り付け、壁寄せスタンドを固定してください。



注意

組み立ては、手順に従ってしっかり組み立てる

ネジがゆるんでいたり抜けていると、壁寄せスタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。



注意



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

ガラス棚板に力をかけない

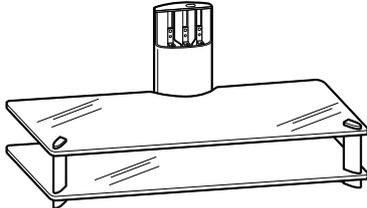
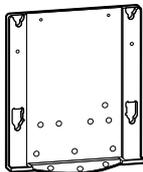
組み立てるときや、収納機器を設置するときに、ガラス棚板に手をつけて体重をかけたり、ドライバーなど硬いものを落としたりしないでください。ガラス棚板が割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

# 手順1：組み立てに必要な部品を確認する

組み立てる前に⊕ドライバーをご用意ください。

名 称	数 量	名 称	数 量
本体 	1	メインブラケット 	1
ケーブル結束タイ 	1	ケーブル留め 	1
		皿ネジ  M6 × 16 mm	10
		はずれ防止ネジ 	2

# 手順2：本体にメインブラケットを取り付ける

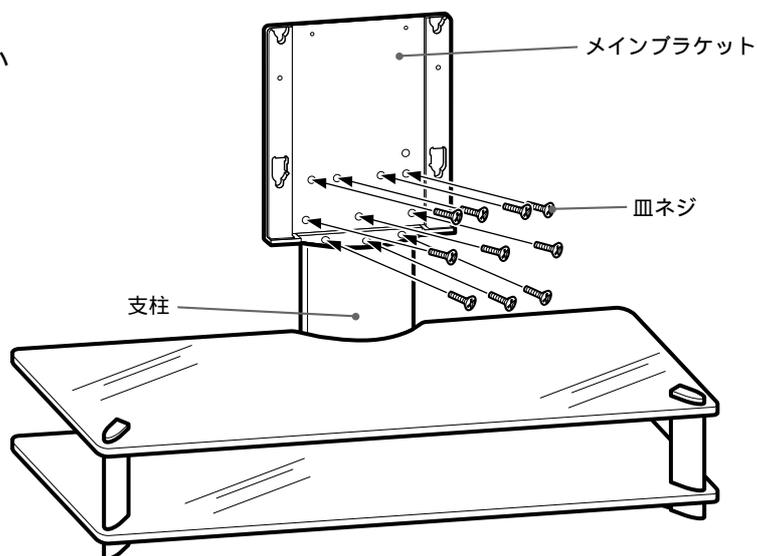
- 1 メインブラケットと支柱のネジ穴を合わせ、皿ネジ(10本)で固定する。  
作業は2人以上で支えながら行ってください。  
10本の皿ネジで一度仮留めをした後、しっかり締め直してください。

### ご注意

支柱をしっかり支えて、安定させた状態で取り付けてください。

### ⚠ 注意

電動ドライバーで締め付ける場合、締め付けトルクはおおよそ2.45 N・mに設定してください。インパクトドライバーは使わないでください。  
インパクトドライバーや指定外のトルク設定をした電動ドライバーを使用するとネジを過大なトルクで締め付けることになり、部品やネジを破壊し、製品が落下してケガの原因となります。



# 手順3：ディスプレイを取り付ける



**警告**

全ての作業が終わるまで、電源コードをコンセントに接続しないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、コードが傷ついて火災や感電の原因となることがあります。また、電源コードやディスプレイに引っかけると、転んだり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

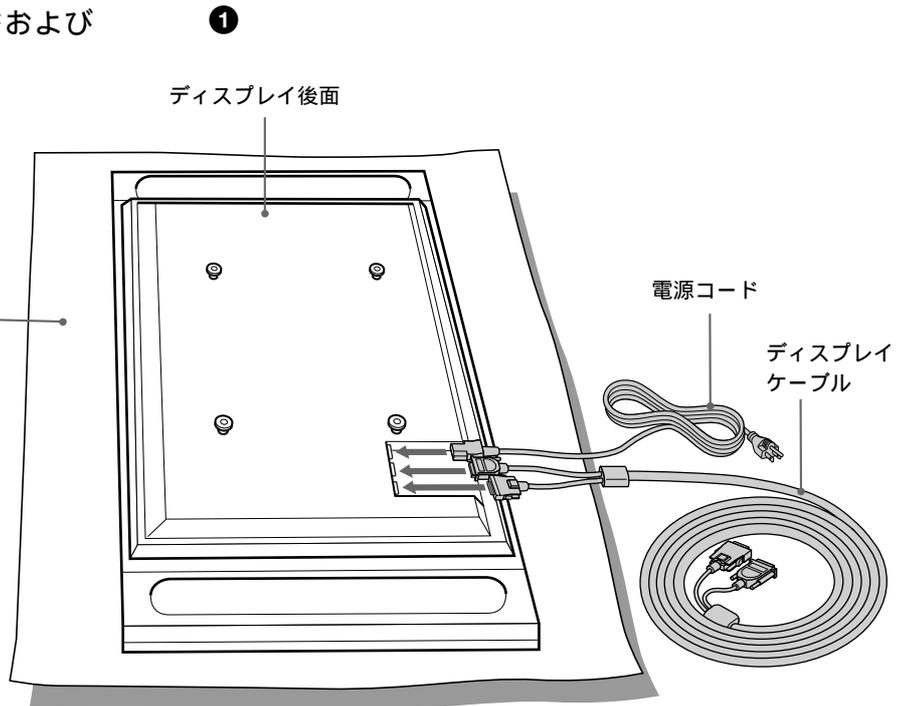
## 1 ディ스플레이を壁寄せスタンドに掛ける。

- ① ディ스플레이に付属の電源コードおよびディスプレイケーブルをつなぐ。

👁️ ちょっと一言

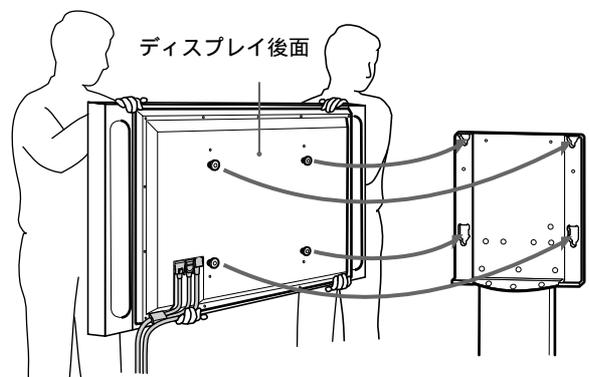
電源コードおよびディスプレイケーブルの接続については、フラットパネルデジタルテレビ(KDE-P42HX1/KDE-P50HX1)の取扱説明書をご覧ください。

毛布などの  
柔らかい布



- ② ディ스플레이の上下両端を2人以上で持って、ディスプレイ後面のフックをメインブラケットの穴に差し込み、4か所の穴に全てのフックが引っかかっていることを確認する。

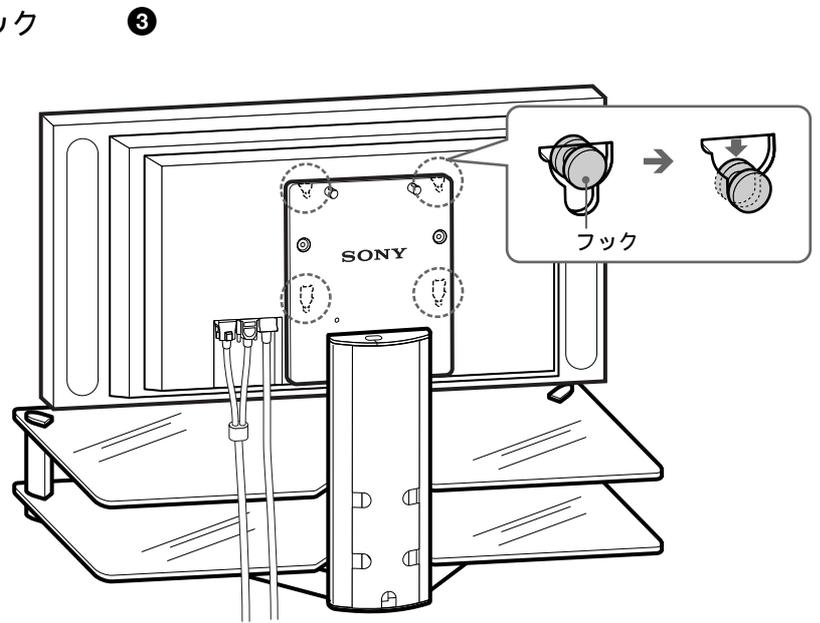
②



**3** メインブラケットの穴に差し込んだフックを、まっすぐ下におろして固定する。

**ご注意**

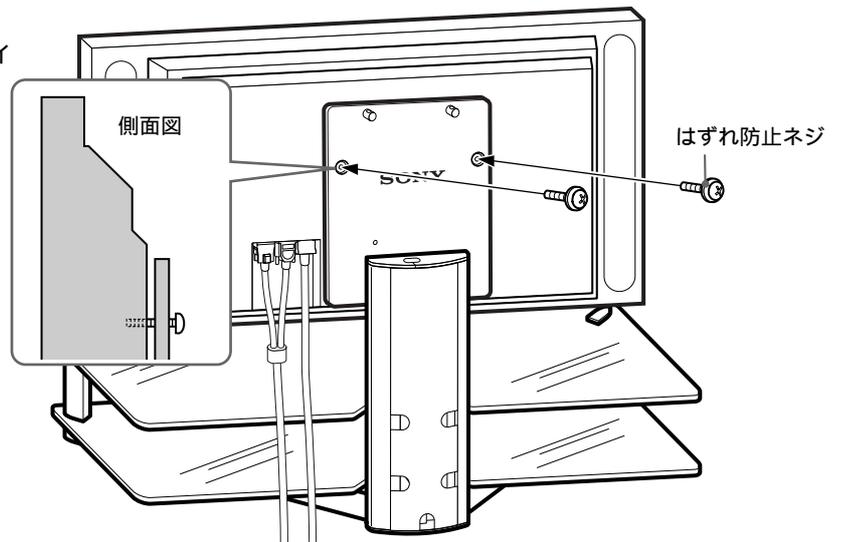
- ディスプレイは、穴の底までしっかりと差し込んでください。取り付け後は、ディスプレイが平行にかかっているかご確認ください。
- ディスプレイを取り付けるときは、壁寄せスタンドが動かないように注意してください。



**2** はずれ防止ネジ(2本)を使ってディスプレイを固定する。

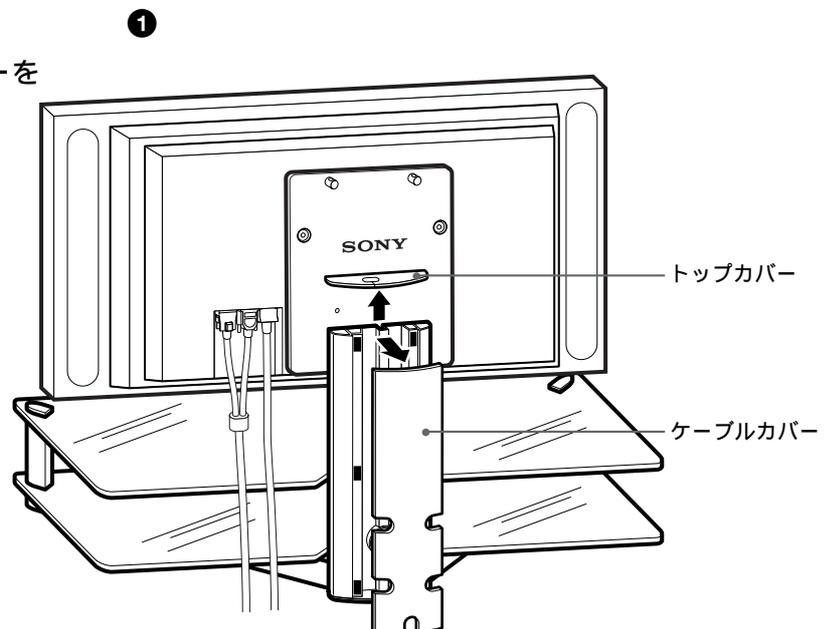
**警告**

はずれ防止ネジ(2本)を使わないと、ディスプレイが落下し、けがの原因となることがあります。

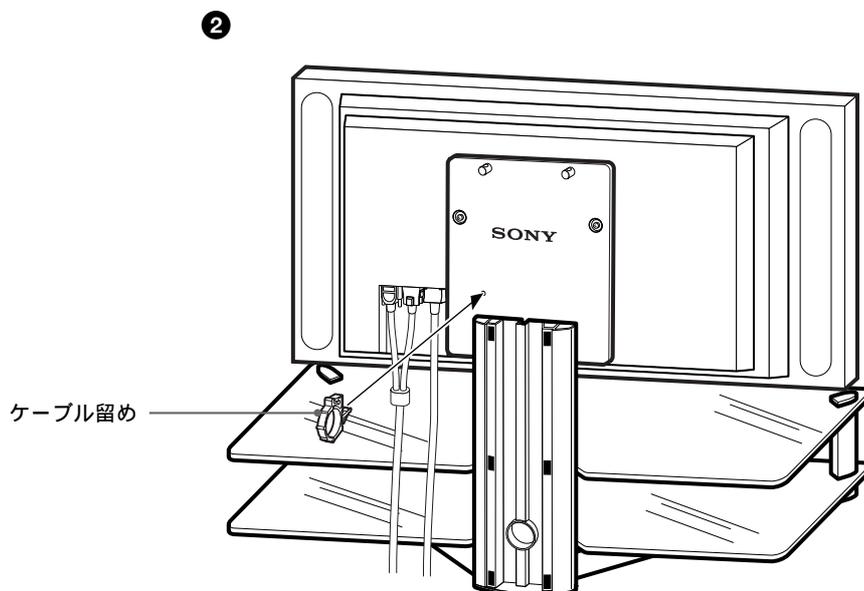


**3** 電源コードおよびディスプレイケーブルを固定する。

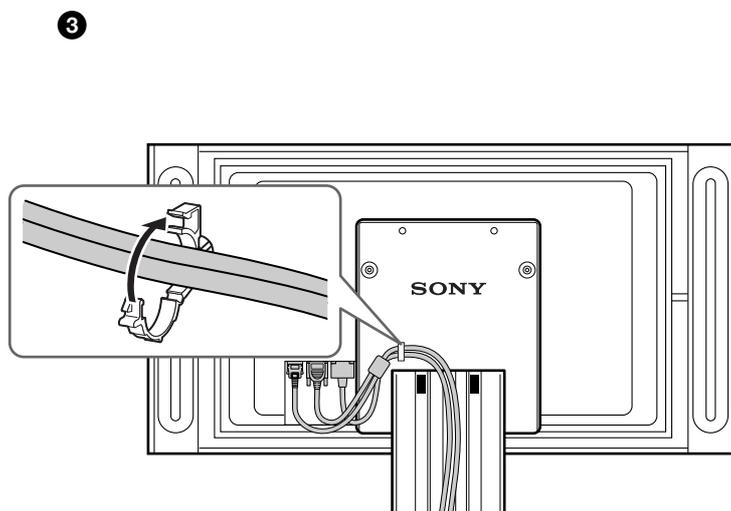
- 1** 支柱からトップカバーとケーブルカバーを取りはずす。



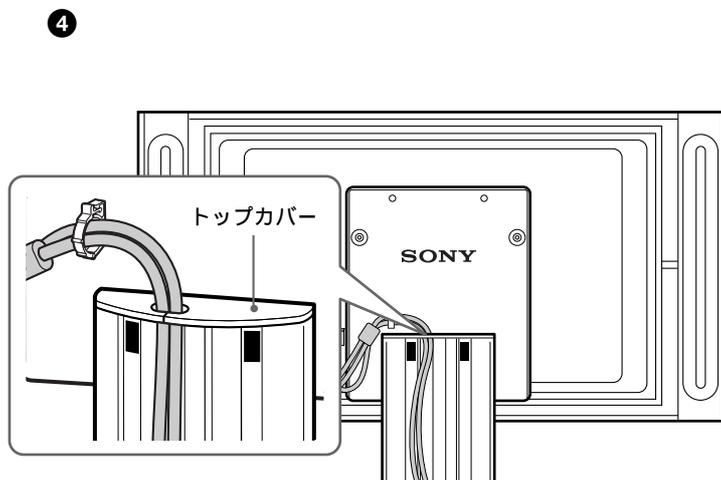
- ② ケーブル留めをメインブラケットに取り付ける。



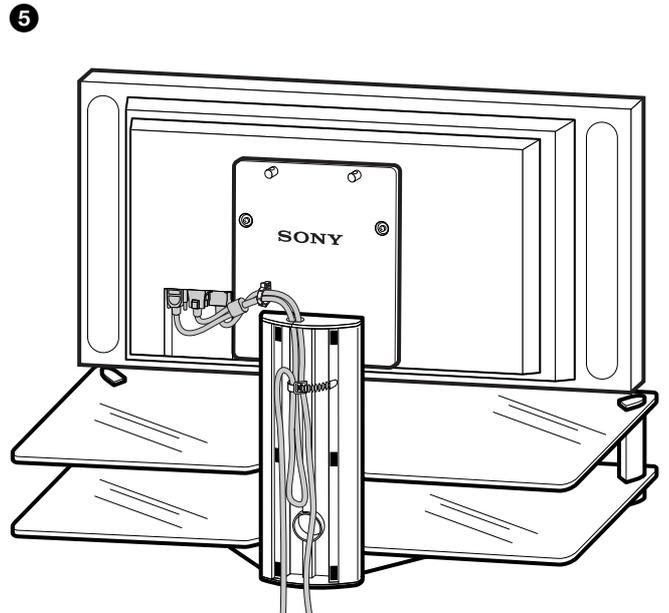
- ③ ケーブル留めに電源コードおよびディスプレイケーブルを通して、コード類を留める。



- ④ 支柱にトップカバーを取り付け、電源コードおよびディスプレイケーブルを通す。



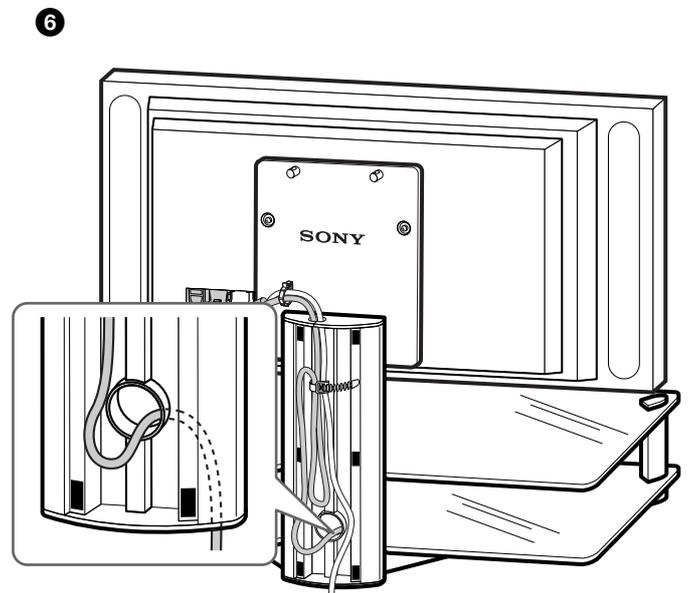
- ⑤ ケーブル結束タイで電源コードおよびディスプレイケーブルを図のように束ねて、支柱内におさめる。



- ⑥ ディスプレイケーブルを支柱前面の穴に通す。

**ご注意**

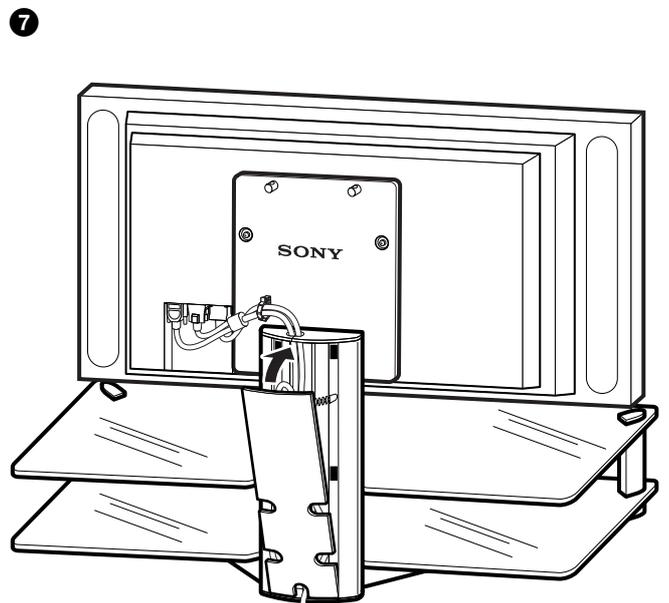
電源コードは穴に通さないでください。



- ⑦ ケーブルカバーを取り付ける。

**ご注意**

電源コードおよびディスプレイケーブルをケーブルカバーではさまないでください。



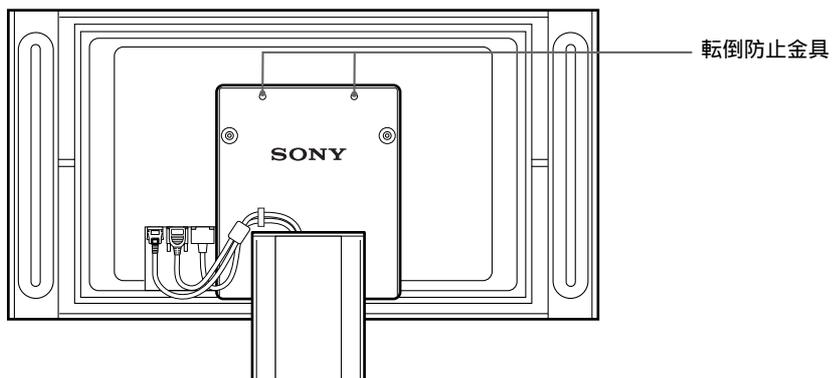
# 4

## 転倒防止の処置を行う。

メインブラケット上部の転倒防止金具にワイヤーなどを通して壁に取り付け、スタンドを固定する。

### ⚠ 警告

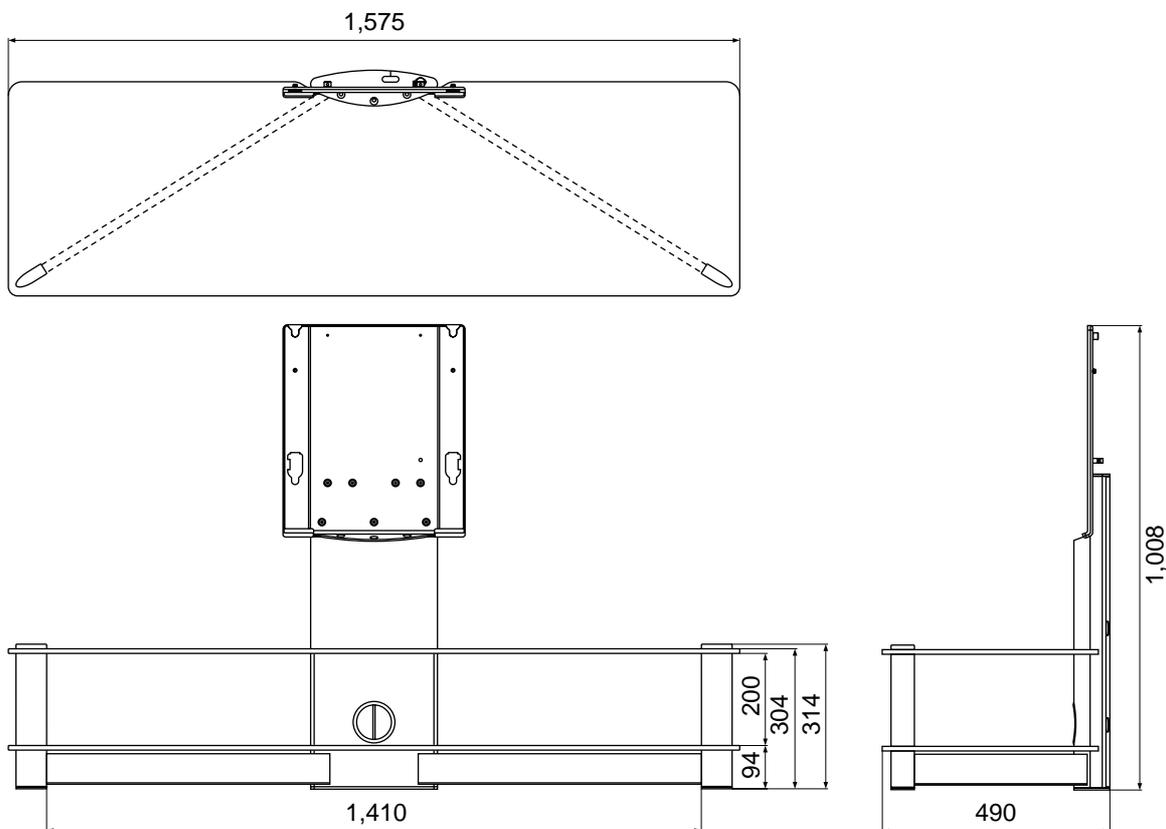
転倒防止の処置をしないと、地震などによりディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。メインブラケット上部の転倒防止金具にワイヤーなどを通して、壁寄せスタンドを壁に固定してください。



# 主な仕様

単位 : mm

質量 : 56 kg

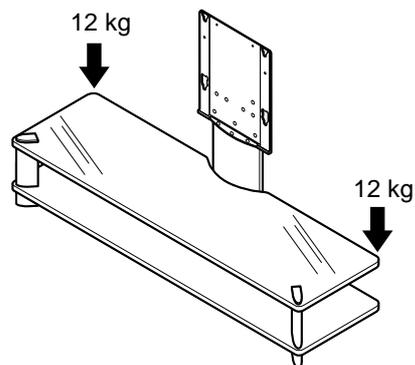
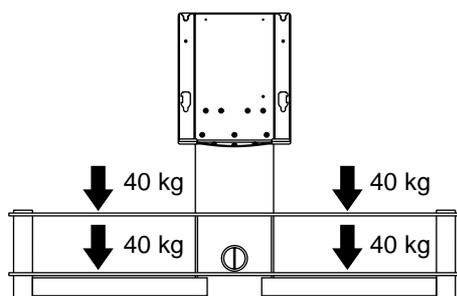


## ガラス棚板の積載量について

### 警告

指定の質量を超えると、ガラス棚板が割れたりして、破片が飛び散り、けがの原因となることがあります。

- それぞれのガラス棚板には、図に示す質量以上のものを載せないでください。
- ガラス棚板の端に重いもの(12 kg以上)は載せないでください。



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>  
お客様相談センター  
● ナビダイヤル……………☎0570-00-3311  
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)  
● 携帯電話・PHSでの利用は 03-5448-3311  
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)  
● FAX……………0466-31-2595  
受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00  
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



この説明書は100%古紙再生紙を使用  
しています。